

タマゴ事業



- ▶ 卵の魅力を発信し、需要創出による健康寿命延伸に貢献します
- ▶ タマゴのリーディングカンパニーとして、卵を通じて食生活に貢献します

事業のめざす姿

世界の人々に卵の魅力を伝え、  
卵を通じて健康的で豊かな食生活に貢献する

2019-2021年度 中期経営計画

テーマ

卵加工技術で世界No.1 ~「タマゴのキューピー」の普及~

主な取り組み

主役化の推進

内食市場では、時短・簡便ニーズに対応した商品を創出し、新たな価値を提供し続けていきます。また中食市場に対しては、グループの販路を活用しながら、商品の展開を図っていきます。

業務用市場での展開

こだわりの卵を活用した商品や半熟技術を活かした商品で需要拡大を図るとともに、新たにトッピングなどの用途提案を展開し、需要を創出していきます。



最適な事業体制の構築

素材品と加工品の技術融合を図りながら、生産体制の見直しを行い、割卵から加工までの一貫生産体制の構築など生産合理化を進めていきます。また、高速割卵機の導入を他工場へ水平展開し、工場の効率化を図っていきます。

2018年度の主な取り組み

業務用市場での展開

料飲・惣菜業態を中心とした業務用市場において、卵を割る手間がなく、安全・安心に使用できる小型包装形態の凍結卵や加熱しても半熟状態を保持できるタマゴ加工品など付加価値の高い商品で需要拡大を図るとともに、人手不足に対応したオペレーション提案の強化を進めました。

また、これまでより早く大量に卵を割ることができる高速割卵機を導入し、生産性の向上によるコスト削減を進めました。さらに北米のタマゴ事業会社は、販売方法の見直しによって、収益の改善を進めました。

事業基盤の強化

競争力強化を目的とし、事業内のグループ会社である素材品と加工品を製造する会社を2018年12月に合併しまし

家庭用市場での展開

加熱しても固まらず「ふわとろ」の食感を手軽に味わえる「ふわとろたまごのスクランブルエッグ」を販売し、全国のスーパーマーケットへ展開しました。



Topics

関西の液卵の生産拠点として  
キューピータマゴ三田工場2019年10月稼働予定

「お客様とともに成長し、未来につながる次世代工場」をめざし、兵庫県三田市(さんだし)にキューピータマゴ株式会社三田工場を新設します。

この工場では、主に業務用の液卵を中心とした素材品の製造を行う予定です。



Message



取締役 専務執行役員  
(タマゴ事業担当)  
齋藤 謙吾

生産合理化と生産・販売・開発の一体化で、お客様のニーズをタイムリーに商品化していくとともに付加価値を創出していきます。

卵は健康寿命延伸のために欠かせない食品です。卵の正しい知識を知っていただくとともに、日本の鶏卵需要の拡大にも貢献していきます。